

話題



地域の催し物やまちのできごとを写真で紹介します。

プロ顔負けの作品を展示即売(石巻)

11月5日(土)・6日(日)の2日間、総合福祉会館みなと荘で、「老人の生きがいと創造の事業」チャリティ作品展が開催されました。みなと荘が開設している手芸・木工・陶芸の名講座の受講生93人の作品、約1,270点が展示即売され、売上の一部は福祉に寄付されました。

これは、昭和58年から毎年行われているもので、60歳以上の方の「生きがい」を作り出すことを目的に行われています。

朝から大勢の市民が訪れ、丹精込めて作られた作品を買い求めていました。



がほくの秋を存分に満喫!(河北)

10月30日(日)から11月3日(木)までメディアシップステージやビッグバンなどを会場に「フェスティバル・イン・がほく」が開催されました。

初日の産業まつりは約8,000人もの来場者があり、鮭のつかみ取り大会やピンゴ大会、マジック&物まねショー、農産物共進会、地場産品の即売などで賑わいを見せました。文化祭では、芸能音楽祭や神楽大会で美しい踊りや伝統ある舞が披露されたほか、作品展や特別企画展(地域なつかしの写真展)などが行なわれ、収穫、味覚、芸術の秋を大勢の方が堪能していました。



大盛況 かなん市民まつり(河南)

11月5日(土)、6日(日)の両日、「かなん市民まつり」が遊楽館で行われました。

このまつりは、伝統芸能の披露、趣味の作品展示、特産品の展示販売など、郷土の文化や産業の宝が一堂に会した祭典であり、かなんの魅力を満載した晩秋の風物詩として長年親しまれてきました。

今回は、会場を遊楽館に移したほか、ウォーキング大会を織り交ぜるなど、新装されたまつりを楽しもうと駆けつけた大勢の人出で活気に満ちあふれていました。



練習の成果を市民に披露(北上)

第8回目となった「にっこりまつり」が10月30日(日)、にっこりサンパークを会場に開催されました。祭りでは、開会セレモニーとして餅まきなどが行われたあと、文化協会による町民芸能祭や歌手の三沢あけみさんの芸能ショーなどが行われました。

会場には、ミニ新幹線やパンダドーム、地場産品の即売コーナーなど盛りだくさんの企画が設けられ、大勢の市民でにぎわいました。また、北上中学校体育館では、町民文化祭や山野草展も開催され、丹精込めた作品が展示されました。

まちの



このコーナーでは、



文化の秋・芸術の秋を満喫(桃生)

愛好者や子ども達の見事な芸術作品を一堂に展示し、桃生文化祭が11月3日(木)から5日(土)まで、桃生総合センターで開催されました。

これは、桃生地区内の方々が制作した芸術作品を、多くの方々に見てもらおうと毎年開催しているもので、今年は、絵画や書道、陶芸など1,259点の作品が展示されました。

また、会場内では、ちぎり絵や折り紙、陶芸などの実演が行われ、訪れた方々は愛好者の指導を受けながらオリジナルの作品を制作し、文化の秋・芸術の秋の一日を楽しんでいました。



火の用心!

防火意識を再確認(雄勝)

秋の火災予防運動行事の一環として、女川消防署雄勝出張所主催の「石巻市雄勝町火災予防ポスターコンクール」が行われました。

これは、子ども達の防火意識の高揚を目的に、雄勝地域の小中学生を対象として公募したもので、164点の作品の応募があり、審査の結果、特選2点を含む37点が入賞しています。

入賞作品は、火災予防期間中の11月9日(水)から15日(火)までの一週間、雄勝総合支所ロビーに展示され、来庁者の方々は子ども達のユニークな作品を鑑賞しながら、あらためて防火に対する意識を再確認していました。



透きとおる歌声を披露(牡鹿)

11月9日(水)牡鹿体育館を会場に、牡鹿地区小中学校音楽発表会が開催されました。発表会には、4つの小学校と3つの中学校の児童生徒が参加し、多くの父母らの前でこの日のために練習を重ねてきた合唱などを披露しました。

各学校の発表が終わるたびに、会場からは大きな拍手が送られていました。